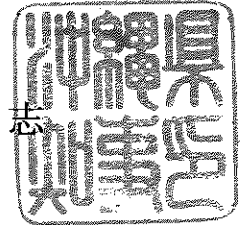


知基第185号
平成28年12月14日

第3海兵遠征軍司令官
ローレンスD. ニコルソン 殿

沖縄県知事 翁長雄志



MV-22オスプレイの墜落について（抗議）

平成28年12月13日午後9時30分頃、米軍機MV-22オスプレイが名護市東海岸から約1キロメートルの沖合に不時着水したとの発表がありました。県としては、機体が大破している状況から、墜落であるものと認識しております。

オスプレイについては、県民の不安が一向に払拭されていないことから、配備撤回を求めてきましたが、その不安が現実のものとなり、大きな衝撃を受けております。

近くの名護市安部集落へ極めて重大な被害を及ぼしかねない距離であり、一步間違えば人命、財産に関わる重大な事故につながりかねず、大変遺憾であります。

また、今月6日に宜野座村城原区において、住宅地上空を物をつり下げた状態での飛行が確認されたことに関し、周辺住民に十分配慮するよう強く抗議したにもかかわらず、住宅地域の近くでのオスプレイの飛行訓練が頻繁に確認されるなど、県民の不安と安全を無視した米軍の対応が、今回の事故発生につながったと言わざるを得ません。

県としては、県民が配備に強く反対してきたオスプレイがこのような事故を起こしたことに對し、怒りを禁じ得ず、直ちの飛行中止と配備撤回を強く要請するとともに、強く抗議します。